

湘南フォーラム



生活・暮らしの向上と、 更なるまちの前進に向けて

久保田 聡議員

市長に問う

問 令和4年度はポストコロナを見据えながら経済を回し、コロナ対策も万全に行いながらの市政運営や財政運営となり、より一層の工夫が必要となった1年であった。総体的な取り組みと、どのような歳入確保策に取り組んだのか伺う。

市長 国や県と密接に連携して情報収集をし、国県補助金などを活用したほか、債権徴収の推進や未利用地などの売却も進め、更なる確保策にも取り組んだ。歳出では、より一層の行財政改革に取り組み、ワイズスベンディングや全体最適の考え方を徹底し、真に必要な施策に財源を集中し、安定した持続可能な財政運営につなげられたと考えている。

問 6年度策定予定の駅周辺地区将来構想に向けた第一弾のアクションプランとして5年7月から平塚市敷地共同化推進事業支援制度が開始された。支援制度を実施し、最終的なまちの姿をどのようにイメージしているのか伺う。

市長 将来の駅周辺地区のイメージはこれからの駅周辺に求められる滞留や交流に資する機能などを配置す

ることで、多くの人たちが訪れ、集まった人たちがくつろぎ、さまざまな目的に合わせて過ごすことができるまちをイメージしながら将来構想の策定を進めている。

問 市長は所信表明で重点課題や取り組むべき大きな柱に子育て支援を掲げた。子育てを取り巻く環境やニーズは多様化・複雑化しており、より柔軟な子育て環境の構築と施策の展開が必要と考える。今まで以上に子育て世帯の満足度を上げ、より安心して子育てが出来る魅力あるまちづくりに向けて、今後どのように子育て施策に取り組み、進化させるのか伺う。

市長 小児医療費助成は所得制限を撤廃し18歳まで拡大する。また、産後パパ育休の拡大を働きかけ、もう一人子どもが欲しい家族を応援する。保育所などでは待機児童対策や手ぶら保育の推進、配慮が必要な児童の受入れ支援に取り組む。6年9月には中学校完全給食を開始するなど、引き続き安心して子育てできる魅力ある環境を整えていく。

学校教育の現状と今後

問 ICT教育の導入開始

から約3年が経過し、これまで各学校や教員の創意工夫により、個別最適化された学びや教育の実現に取り組んできたと認識しているが、今後の更なる活用に対する見解を伺う。

教育長 更に主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげるため、国や県の情報を収集し、各学校における取り組みの好事例を発信するなど、タブレット端末の更なる活用を支援していく。また、授業以外の活用の一つとして、市教育委員会では、いじめを含めたさまざまな悩みの早期発見・早期対応のため、児童生徒がタブレット端末から相談することが出来る「平塚市子ども相談フォーラム」を構築した。今後、各学校で児童生徒に説明後、順次運用を開始する。

問 多忙化する学校現場において、教員の働き方改革や業務負担軽減が必要と捉えている。働き方改革に向けた取り組みを伺う。

教育長 学校における教職



人にやさしい、生活環境を

府川 正明議員

自治会の加入促進は

問 この数年間の自治会加入率の推移と、県内での加入率は何番目か伺う。

市民部長 本市の加入率は平成30年度が72.4%、コロナ禍の令和3年度は70%、5年4月1日現在は66.8%となっており、各市の最新データでは県内19市中10番目となっている。

問 自治会は地域のコミュニケーションなどを担ってきた。役員や担い手不足なども課題であるが、持続可能な自治会運営にしていけるための考えを伺う。

市民部長 社会状況が変化し従来どおりの事業を行うのが難しい中、若い世代や

の活用を支援していく。また、授業以外の活用の一つとして、市教育委員会では、いじめを含めたさまざまな悩みの早期発見・早期対応のため、児童生徒がタブレット端末から相談することが出来る「平塚市子ども相談フォーラム」を構築した。今後、各学校で児童生徒に説明後、順次運用を開始する。

員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進するため、平塚市立学校教職員安全衛生委員会を定期的に開催していく。その中で、これまでの取り組みについての効果を検証するとともに、国の動向を注視し、新たな取り組みを検討するなど今後も学校の働き方改革を推進していく。

このほかの質問 中学校完全給食の実施に向けた現状と今後、平塚市幼保一元化に関する公立園の見直し(改訂版)に基づく本市の考え方

問 宅配による見守り事業の成果と効果を伺う。

健康・子ども部長 子育て支援団体を利用し支援ニーズの高い子どもなどがある世帯に弁当を届け、生活状況の把握などを行っている。家庭を直接訪問することで、支援ニーズの高い子どもを見守る体制の強化が図られ、少しずつだが家庭の状況改善にもつなげることができたと考えている。

問 学校関係や関係機関との連携について伺う。

健康・子ども部長 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会と、庁内14課で構成するヤングケアラー支援推進会議を活用して連携を進めている。

問 ヘルパー派遣の現在の状況を伺う。

健康・子ども部長 5年2月から開始し、現在1世帯が利用しているほか1世帯の利用調査を進めている。

問 ヤングケアラーとして把握している人数を伺う。

健康・子ども部長 8月末時点では44人である。

員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進するため、平塚市立学校教職員安全衛生委員会を定期的に開催していく。その中で、これまでの取り組みについての効果を検証するとともに、国の動向を注視し、新たな取り組みを検討するなど今後も学校の働き方改革を推進していく。

このほかの質問 中学校完全給食の実施に向けた現状と今後、平塚市幼保一元化に関する公立園の見直し(改訂版)に基づく本市の考え方

問 宅配による見守り事業の成果と効果を伺う。

健康・子ども部長 子育て支援団体を利用し支援ニーズの高い子どもなどがある世帯に弁当を届け、生活状況の把握などを行っている。家庭を直接訪問することで、支援ニーズの高い子どもを見守る体制の強化が図られ、少しずつだが家庭の状況改善にもつなげることができたと考えている。

問 学校関係や関係機関との連携について伺う。

健康・子ども部長 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会と、庁内14課で構成するヤングケアラー支援推進会議を活用して連携を進めている。

問 ヘルパー派遣の現在の状況を伺う。

健康・子ども部長 5年2月から開始し、現在1世帯が利用しているほか1世帯の利用調査を進めている。

問 ヤングケアラーとして把握している人数を伺う。

健康・子ども部長 8月末時点では44人である。



安心・安全・快適なまちへ

山原 栄一議員

金目川水系を 安心・安全に

問 令和3年7月3日に大雨が降り、金目川周辺で氾濫が発生し「緊急安全確保」が全国で初めて発令された。その後も大雨が降るたびに不安を抱えて暮らす多くの市民がいる。金目川水系の安心・安全に向けた取り組みについて伺う。

土木部長 金目川水系の河川整備は河川管理者である

が、介護者の支援体制を充実させるべきではないか。

福祉部長 地域包括支援センターではケアマネージャーの支援を目的に、包括的・継続的ケアマネジメント支援に取り組み、個別指導や相談支援を行っている。地域では、自治会や地区社協などで構成する地域ケア会議を設置し、地域での課題解決や介護者の異変に気付ける支援体制の充実に取り組んでいる。

問 金目川の内外氾濫対応は水害を予防する大事な肝である。対策に向けた市長の決意を伺う。

市長 早期に解決しなければ住民にとっては大きな脅威が続く。県に対してはしっかりと対応するよう強く要望していく。

問 今後の利活用については、地元自治会長からの意見も踏まえて検討するのか伺う。

企画政策部長 委託業務の結果を踏まえて売却の方向性を決めていくことで進めている。売却の方向性、市の考え方をまとめた段階で地域へ説明を行う。

このほかの質問 広域的な幹線道路の渋滞について平塚市地球温暖化対策について

県により進められている。河川内に堆積した土砂の撤去については、今年度も金目川では唐ヶ原や長持、入野地区など、鈴川では岡崎地区、渋田川では西真土二丁目などで実施すると聞いている。

会議録は11月下旬に公開
9月定例会の会議録は11月下旬から公開します。市議会ホームページなどでもご覧になれます。

議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。
本市議会では、開かれた議会とするため、平塚市庁舎本館8階の議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境をつくりました。

湘南フォーラム 所属議員

出村 光議員

小泉 春雄議員